



ドイツ第 1810 地区との青少年夏期交換プログラムに参加した高校生 4 名（ドイツの空港にて）



ガバナー月信
2011.09.01

Vol. 3

CONTENTS

ガバナーメッセージ 2	クラブ紹介 村松ロータリークラブ 9
新世代のための月間 3	クラブ紹介 小千谷ロータリークラブ 9
青少年 1 年交換帰国報告 4	新入会員・物故会員 10
国際奉仕フォーラム 7	出席報告
東日本大震災支援報告 8	ハイライトよねやま / 文庫通信

石本ガバナー事務所 〒951-8053 新潟市中央区川端町 2 丁目 12 2 階 TEL : 025-201-7802

国際ロータリー第 2560 地区 2011-2012 年度ガバナー：石本 隆太郎

ガバナーメッセージ

9月、新世代のための月間

新世代育成事業に積極的に参加しよう！



ガバナー 石本隆太郎

7月19日の長岡ロータリークラブを皮切りにスタートしたガバナー公式訪問も、8月30日の新津中央ロータリークラブで、13クラブを回り終えました。9月からは、週末毎に各分区のIMが入りますので、体調管理に気を配りながら、ガバナーの職責を果たしてまいりたいと、気を引き締めております。

公式訪問は、万一の事故などがあってはならないとの周囲のアドバイスもあり、出来るだけ公共交通機関を利用するようにしております。最近、自家用車でのドア・ツー・ドアの生活が当たり前でしたから、初めて体験する在来線での旅も結構楽しいもので、車窓から刈り取りが近い越後平野の風景を眺めたり、乗継駅のホームで、ぼんやり線路を眺めたり、スローライフを楽しんでおります。

9月は「新世代のための月間」です。何故、新世代月間が9月なのか、理由は分かりませんが、当地区の行事としては、7月17日(日)～18日(月、祝日)の二日間にわたり、インターアクト年次大会が、村松高等学校をホスト役にして、五泉市のチャレンジランド杉川をメイン会場に開催され、私も参加いたしました。

詳細は、「ガバナー月信8月号」に掲載されておりますが、そば打ち体験をはじめ、オリエンテーリング、ネイチャーゲームに、ロータリアンを含めて総勢180名もの参加をいただき、真夏の楽しい二日間を過ごすことが出来ました。

8月には、青少年交換事業の1年交換の高校生がブラジルから1名来日するとともに、2名の高校生がアメリカに出発いたしました。また、夏期交換の4名の学生のドイツ派遣も無事終了し、その報告が楽しみです。

この後、10月1日(土)～2日(日)の二日間、ニューグリンピア津南を会場に、「ライラ研修会」が開催される予定ですし、11月12日には、ローターアクトの地区大会が予定されており、又、来年の3月10日～11日の二日間にわたり、新潟市の朱鷺メッセを会場に、ローターアクト全国研修会が開催される予定です。

2010年の規定審議会において、「新世代奉仕」が4大奉仕に加わり5大奉仕となりましたが、国際理解と世界平和のためにも、次世代を担う青少年を育てることは、ロータリーの最大の使命であります。

残念なことには、地区内57クラブ中、インターアクト事業、ローターアクト事業、青少年交換事業等のプログラムに、直接参加しているクラブが少ないのは事実であります。今後、より多くのクラブが、新世代育成事業に積極的に参加されますことを期待致します。

ロータリーは青少年の拠り所

新世代奉仕委員会委員長 林 健晴(高田東RC)

『今時の若い者は』とよく使われる。私の父がこの言葉を使った記憶が、私が中学生の頃だとすると 40 年たったようだ。その私が『今時の若い者は』を使ってしまった。青少年の大会や交流会に出席してみても思う。全てとは言わないが、無気力、携帯電話依存症の子達が多く上手くコミュニケーションがとれない、時代の流れと言ってしまえばそれまでだが、彼らには将来への希望や夢に向かって積極的に行動する意識が見えてこない。政治が悪いのか、教育が悪いのか、大人達が悪いのか。

こういう状況だからこそ、新世代奉仕委員会の青少年プログラムを活かして指導していくことがロータリーの使命だとこの頃強く思うようになった。

その思いの中で嬉しい事があった。プログラムの一つにインターアクト海外研修がある、3泊4日で台湾の高校生宅へホームステイをして交流を深める事業である。その研修生の男子高校生の母親から、うちの息子は親に挨拶をしない子供でしたが、研修に参加してから挨拶をするようになりました。こんなに変わるものですかと言われた。変わるかどうかは本人の受け止め次第だが、台湾の学生達は規律正しく元気があり、日本国から来た学生達を一生懸命歓迎する姿に感動を覚えるのは確かである。ロータリーのプログラムは地道ではあるが確実に成果をあげていると確信する。

ここに、台湾の交流会最後のお別れの写真で感動のお裾分けをしたい。



アメリカで得たもの ～～青少年1年交換帰国報告～～

氏名:山岸 大将(国際情報高校)

ホストクラブ:Salem Sunrise

ホスト地区:D5100

ホストスクール:North Salem High

スポンサー :頸北 RC

帰国日:7月12日



私は、アメリカでたくさんの経験を得ました。それはとても貴重な私の宝です。そして自分が大きく変わったように思えます。それはただ単に語学力と言うことではありません。彼らのほとんどがキリスト教徒で、私もホストファミリーとほぼ毎週日曜の朝教会に行きました。最初の家族から聖書をもらい、勉強しました。そして教会で聖書の勉強会にも参加しました。私にとって大変難しかったですが、他の宗教について学べるいい機会でした。

そして学校も通常通り通いました。最初は、彼らの言っていることがほとんど理解できませんでした。最初の数か月は大変苦労しました。最終的には、ほとんどの授業内容が理解できました。何人かの友達が『ヒロは最初すごく静かだったけれど、今はよく話すよね』と言ってくれました。私はこの言葉を聞いてとても嬉しかったです。私が進歩したことを表しているからです。また、食文化も日本とは多くの相違点がありました。しかしこれも彼らの文化であり、一つの経験でした。

次にアメリカのR・Cについて少し紹介します。私はセーラムサンライズR・Cに受け入れをしてもらいました。毎週水曜の朝、例会が行われます。私は毎週参加していました。とてもまねなケースだったようです。例会の雰囲気はとてもリラックスして、多くのゲストの卓話を聞け大変良かったです。この地区は、受け入れと来年度の留学生が45名ずつほどいます。アメリカではとても大きな地区です。そのおかげで多くの留学生と知り合うことができました。行事も、オリエンテーション・ディズニーマーワールドと東オレゴンへの旅行・スキーとたくさんありました。地区大会でのスピーチコンテストやタレントショーととても楽しかったです。私はこの素晴らしい機会を得ることができ本当にうれしく思います。ロータリーの皆さんが支えてくださったからだ大変感謝しています。本当にありがとうございました。



2010～11 年度一年交換派遣留学について～青少年1年交換帰国報告～

氏名:松永 朋泰(新発田中央高校)
ホストクラブ:Foz do Iguacu Costa Oeste
ホスト地区:D4640
スポンサー :新発田 RC
帰国日:7 月 21 日



僕は 2010 年 9 月 4 日から 2011 年 7 月 19 日までの 10 カ月と 15 日間ブラジルのフォズドイグアスという市で暮らしました。

そこに到着する前に一番初めに困ったことは、サンパウロの空港で自分が乗る便が遅れ、さらにゲートが何度も変わったことです。英語もポルトガル語も分からない状況だったのでアナウンスを聞いて状況を判断することが出来ず、何回もゲートの確認をしに行った事を覚えています。

1 つ目の家に行ったころはやはりまだ言葉がよく分からず、何が欲しいなどといった簡単な意思表示は出来るのですが、家族に日本について何かを聞かれても何が知りたいのか全く理解できませんでした。しかしホストシスターがもともと日本に興味があり、日本の文化等についても詳しい人だったので代わりに答えてくれたりしていました。他にはそこのお店の手伝いをしたり家族が変わった後でもどこかに連れて行ってもらったりなど、とても良くしてもらいました。そういったこともあり、最初の家族が僕にとって一番好きな家族です。

しかし、2 つ目の家族のところに行ってすぐに風邪をひいて 1 週間ほど寝込んでしまったこともあり、うまく接し方が分からず他の家族に比べて良い関係を築くことはできなかったです。ですが、風邪をひいたとき毎日そこのお母さんが看病してくれたこともあり、お母さんには色々とお話をすることが出来ました。

3 つ目では、そこのお母さんがほぼ毎日僕が言葉を理解できてないときでも分かるまでじっくり説明してくれました。そこまで上手ではありませんが、今これだけポルトガル語を喋れるようになったのは 3 つ目の家のお母さんのおかげだと思います。

4 つ目の家族は、とても僕のことを歓迎してくれていたのですが帰国の予定などもあり 1 カ月半ほどしか居ることが出来ず本当に残念でした。ですがお父さんがいつも冗談を言っていたりして笑いの絶えない家庭で本当に楽しかったです。

ブラジルで何が一番良かった？と聞かれたときはいつも人だと答えています、本当にブラジルの人達はみんなフレンドリーで優しい人達ばかりでした。

受け入れて下さった 4640 地区のみなさん、そして派遣して下さいました 2560 地区のロータリアンのみなさんに感謝を申し上げて帰国レポートとさせていただきます。



アメリカでの一年間 ～～青少年1年交換帰国報告～～

氏名:木村 梓(新潟清心女子高校)
ホストクラブ:Montague Whitehall RC
ホスト地区:D6290
ホストスクール:Montague high school
スポンサー :新潟東 RC
帰国日:7 月 23 日



2010 年から 2011 年、アメリカのミシガン州にあるモンテギューに行かせていただいた 木村梓です。私の行ったモンテギューというところは、とても小さな町でした。学校も小さい学校で、全校の生徒が誰か分かるほどです。

学校生活は私の留学生活で、一番苦しい場面でもあり、最高の楽しい思い出を作れた場所でした。学校に行けば授業があり、どうしても話さなければいけないときが沢山あります。私は初めの頃、人と話すのも授業で発言するのも大嫌いでした。今考えるとそれは間違えることに対する恐怖心から来ていたのかもしれませんが。ですが他の留学生は違いました。とにかく話すことをしていました。私の考えを一番に変えたのは、彼らかも知れません。留学生は皆と話すことの楽しさを教えてくれました。私はだんだん話すのが好きになっていきました。

学校の 1 学期が半分くらい終わったころ、私は学校の友達とロックバンドを始めました。そのころの私は人と話すのを避け、学校に行くのも億劫になっていました。バンドのメンバーは日本の音楽に興味を持っていて、私に沢山話しかけてきました。最初はとても怖かったのですが、だんだん話してみるととても良い人たちだと気づきました。それから私の学校生活はどんどん変わっていきました。学校のコンサートでも沢山のお客さんが来てくれて、私はすごく感動しました。その後も沢山練習とコンサート、レコーディングをして楽しい日々を過ごしました。

アメリカのロータリークラブの皆様はとても親切な人ばかりでした。最初のころはその親切に私が何も返すことが出来ず、とても歯がゆかったです。ですがだんだん話せるようになるにつれて、色々なアメリカの話を聞きました。また私が発表などをするときには皆さん相槌を打ちながら聞いてくださり、とても嬉しかったです。アメリカのロータリーの方にもとても変わったねといわれました。

またいろいろな国からの留学生に会い、国際的視野を広げることも出来ました。他の留学生と話すことで文化の違いを感じたり、意外な共通点なども感じる事ができました。日本に帰ってきてからも海外のニュースをよりみじかに感じるようになりました。

私の留学は初めから楽しかったわけではありません。辛くて帰りたいときも沢山ありました。けれど、ホストファミリー、学校の友達や先生方のおかげで辛い思い出を沢山の楽しい思い出で、塗り替えることができました。私の留学は私に新たな夢と希望、そしてこの先ずっと繋がっていきける、大切な仲間を与えてくれました。この機会を与えてくださったロータリーの皆様や、家族にとても感謝しています。

今の私の夢はもっと沢山英語を勉強をして、またアメリカに行くことです。そしてまた大好きな家族と友達に会うことです。これからまた高校で沢山勉強してこの夢を絶対に叶えます。



「国際奉仕フォーラム」を無事開催！

国際奉仕委員会委員長 小林 勇(柏崎中央RC)

本来7月30日(土)に予定されていた国際奉仕フォーラムは、前々日からの豪雨により当日は 交通網マヒなど最悪の環境となり「絶対無事故」の観点から中止、開催延期となった。仕切り直しで予定された8月27日は快晴に恵まれ、急な日程変更にも関わらず例年並みの出席人数規模をもって県内各地より情熱溢れる各クラブご担当者様が元気に参加。

当日は12時より受付、昼食のあと午後1時より研修開始。福地担当幹事進行の元、元気に奉仕の理想を斉唱。冒頭挨拶に立った石本ガバナーは、日程変更の経緯に触れられた後、バネルジーRI会長の精神と、近年の国際奉仕に言及されながら「本日の研修で学び、今後の活動に生かして欲しい」と期待を寄せた。



●国際奉仕委員会からは青少年交換と国際奉仕の合同開催として「国際奉仕フォーラム」を開いた経緯を説明。また次年度よりRI事情により世界社会奉仕(WCS)が現在の方式では「廃止」となる経緯を説明、今後は出発点として「友情交換」の中から透明性のあるプロジェクトに発展することが望ましいことを強調。また現状の地区内クラブの国内外との「姉妹締結」の現状に触れ、今後各クラブ委員長発の積極的な取り組みを要望。

次に本年3月8日、台湾との姉妹締結をした柏崎中央RC鈴木会長より「事例発表」として締結までの経緯と、写真を交えて両クラブが訪問し合った「友情交換」の様子を発表。

●青少年交換委員会からは、海外の「一年交換学生」受入の様子を紹介し、直近の新潟県の私学支援制度を紹介。

次に派遣学生として1年間 アメリカ・オレゴン州で過ごした山岸大将さん(スポンサー：頸北 RC)が楽しかった留学の感想を述べ「単なる語学留学ではない素晴らしさがあつた」とロータリアンに感謝の想いを発表。

真剣な質疑応答の後、講評に立った鈴木エレクトに、会合の成功と参加者へのねぎらいを頂き、大成功の元に終了した。



東日本大震災支援 2530 地区(福島)報告

地区幹事 小山 楯夫(新潟RC)

石本ガバナー年度初の対外的活動として、東日本大震災で二次的被害を受けた国際ロータリー第 2530 地区(福島県) 根本一彌ガバナーの被災地支援要請を受けて、いわき内郷地域内の小・中・高校 13 校へ熱中症対策として、製氷機を1台ずつ寄贈しました。

児童・生徒たちは1学期中、例年より梅雨明けが早く、高温が続いたことから、気分を悪くするなど体調を崩すこともありました。2学期も前半は残暑が厳しいとみられ、各校とも熱中症対策に頭を痛めていました。子どもたちの様子を案じていた、いわき内郷ロータリークラブで聞き取り調査をしたところ、具合が悪い場合は、保健室で対応するものの、冷蔵庫の氷が少なく、対応に限度があるということが分かりました。製氷機があれば、熱中症の予防に役立てることができるという声を受け寄贈を決め、地区を通して支援要請をしてきたのです。

去る 7 月 28 日、2530 地区から石田弘地区幹事、副幹事はじめ、いわき内郷ロータリークラブ 名和伸将会長、鈴木礼子幹事ら各クラブの会員 10 人が、当地区からは石本隆太郎ガバナー、小山楯夫地区幹事が贈呈式に招かれ、3校を訪れました。

贈呈式は、内郷第一中学校、御厩小学校、いわき総合高校でそれぞれ行われました。このうち、内郷第一中学校(松本伸一校長)で行われた贈呈式では、名和会長、石本ガバナーが「皆さんのために少しでも役に立つことができれば幸いです。暑い夏を元気に過ごし、勉強に運動に活躍することを期待しています」と挨拶したあと、生徒会長の大平拓巳君(3年)へ目録を手渡しました。大平君は「熱中症対策だけでなく、節電にも役立ち、製氷機は一石二鳥。本当にありがとうございます」と感謝を伝えました。また、松本校長も「製氷機は夏場だけでなく、ねんざや発熱などにも威力を発揮し、年間を通して役に立つ。善意に応えるべく、生徒たちが学業・スポーツに努力することを期待しています」と謝辞を述べました。



少人数クラブの絆と団結

村松ロータリークラブ会長 木村 晃

1962年4月26日R Iより承認を受けチャーターメンバー22名でスタートした村松ロータリークラブも一番多い時には40名の会員がおりました。

2009～10年度に10名を割り7名まで会員数が激減しましたが本年度1名の増員により現在8名でのクラブ運営を行っております。

あたり前の話ではありますが、会員数が少ないということは収入も少ないということであり、クラブ運営上非常に苦しい状況であります。よってクラブの事業においても最小限の事しかできずクラブ存続を疑問視する事もしばしばですが、先人達の歩んだ道を尊重し、ロータリー精神を引き継いでいければと感じております。

当クラブは、毎例会90～100%の出席率が活力となり和気あいあいと楽しい例会を行っております。

7月に行われたインターアクト年次大会においては、野崎委員長のもと全員が一致団結してやらせていただき、ロータリアンとしての一体感がより一層深まったと思っております。

また今年度は50周年をひかえております。全員で頑張っていこうと考えておりますのでよろしくお願いいたします。



50年の歩み

小千谷ロータリークラブ会長 西巻 一男

本年50年目に歴史を刻む小千谷ロータリークラブは、現在33名の会員数からのスタートとなりました。34歳から81歳と年齢層も幅広く、そして女性会員数も4名とバラエティーに富んだメンバー構成です。近年の会員数の減少は当クラブでも同様では有りますがクラブ奉仕活動を基本とし、ロータリーファミリーの交流を大切に2世加入の増強と既に5名の新規会員の加入の実績をあげております。



年8回のゴルフコンペを始めとして、当クラブメンバーで構成しております混声合唱クラブは市内外の介護施設への出前コンサート等クラブ活動も活発に行なわれております。先日の月一度の夜例会には、10名を超える会員奥様より参加を頂きまして、例年にない賑やかな一夜を共に致しました。年末にはボーイスカウトの皆さんから協力を頂きまして既に10年以上継続しております、ハンド・イン・ハンド募金（ユニセフへ寄付）を予定しております。

例会日は毎週木曜日です、是非メイキャップへお立ち寄り下さい。

新 入 会 員

小川 寛

中条 RC

入会日:2011 年 7 月 13 日

会社名:水澤化学工業(株)

役職:製造部長

職業分類:薬品製造

山田 修

中条 RC

入会日:2011 年 7 月 27 日

会社名:(株)クラレ新潟事業所

役職:事業所長

職業分類:重化学製品製造

笹川 仁史

白根 RC

入会日:2011 年 7 月 7 日

会社名:笹勇印刷(株)

役職:代表取締役

職業分類:印刷業

椿 浩

白根 RC

入会日:2011 年 7 月 7 日

会社名:(株)ウェルライフ

役職:代表取締役

職業分類:介護事業

土田 隆一

村松 RC

入会日:2011 年 7 月 5 日

会社名:(株)それいゆファーマシー

いしぞね薬局

役職:代表取締役管理薬剤師

職業分類:調剤薬局

木村 文夫

三条 RC

入会日:2011 年 8 月 10 日

会社名:三条商工会議所

役職:専務理事

職業分類:商工会議所

佐々木 朋子

見附 RC

入会日:2011 年 8 月 25 日

会社名:(株)越佐

役職:代表取締役

職業分類:サービス業

村上 潤

長岡東 RC

入会日:2011 年 8 月 31 日

会社名:東京海上日動火災 長岡支社

役職:支社長

職業分類:火災保険

村田 正

小千谷 RC

入会日:2011 年 8 月 4 日

会社名:(有)村田農機商会

役職:専務取締役

職業分類:農機具販売

池 日出夫

小千谷 RC

入会日:2011 年 8 月 4 日

会社名:(株)松月堂

役職:代表取締役社長

職業分類:菓子製造販売

西巻 吉弘

小千谷 RC

入会日:2011 年 8 月 4 日

会社名:(株)西巻ソーゴウ自動車工業

役職:代表取締役

職業分類:自動車整備

木村 光治

小千谷 RC

入会日:2011 年 8 月 4 日

会社名:(株)キムラ

役職:代表取締役

職業分類:総合建設

位下 寿生

小千谷 RC

入会日:2011 年 8 月 4 日

会社名:(株)位下印刷

役職:代表取締役社長

職業分類:印刷業

猪俣 幸四郎

十日町北 RC

入会日:2011 年 7 月 6 日

会社名:東北電力(株)十日町営業所

役職:所長

職業分類:電力供給

松永 直哉

高田 RC

入会日:2011 年 7 月 22 日

会社名:丸福証券(株)上越支店

役職:支店長

職業分類:証券業

吉村 繁

新井 RC

入会日:2011 年 7 月 27 日

会社名:(株)八十二銀行新井支店

役職:支店長

職業分類:貯蓄銀行

荒井 敏

新井 RC

入会日:2011 年 7 月 27 日

会社名:(株)日曹建設

役職:社長

職業分類:建築

物 故 会 員

心よりご冥福をお祈りいたします。

藤間 康男

新発田城南 RC

ご逝去日: 2011 年 8 月 22 日 (享年 56 歳)

会社名: (有)藤間設備

役職: 代表取締役

職業分類: 管工事業

9月 地区の予定 ～～新世代のための月間～～

2011 年 9 月	地 区 主 要 行 事	会 場
3 (土)	第 2 分区 IM (大西 AG・新潟北 RC)	万代シルバーホテル(新潟市)
4 (日)	第 5 分区 IM (吉田 AG・栃尾 RC)	栃尾産業交流センター(栃尾)
10 (土)	第 7 分区 IM (月岡 AG・糸魚川中央 RC)	ビーチホールまがたま(糸魚川市)
11 (日)	第 6 分区 IM (大竹 AG・雪国魚沼 RC)	ホテル坂戸城(南魚沼市)
17 (土)	第 3 分区 IM (小柳 AG・新津 RC)	キャトルセゾン(新津)
23 (金)	ロータリー財団国際親善奨学生オリエンテーション	万代シルバーホテル(新潟市)
24 (土)	第 4 分区 IM (山田 AG・見附 RC)	ホテルつるや(見附)

2011 年 9 月	ガバナー公式訪問	分区
1 (木)	新発田城南 RC	1
5 (月)	三条南 RC	4
6 (火)	佐渡南 RC	2
8 (木)	佐渡 RC	2
14 (水)	長岡東 RC	5
15 (木)	五泉・阿賀野川ライン RC	3
21 (水)	雪国魚沼 RC	6

2011 年 9 月	ガバナー公式訪問	分区
22 (木)	越後春日山 RC	7
26 (月)	村上岩船 RC	1
27 (火)	村松 RC	3
28 (水)	巻 RC	4
29 (木)	糸魚川 RC	7
30 (金)	糸魚川中央 RC	7

第2560地区 2011-12年度 7月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日現在	7月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	87.91	332	333	28	1
新発田	3	98.71	79	80	0	1
村上	3	83.81	35	35	6	0
水原	3	77.73	21	21	1	0
中条	4	84.50	35	36	2	1
新発田城南	4	90.00	44	43	6	-1
豊栄	4	92.85	21	21	3	0
新発田中央	4	92.39	46	46	3	0
中条胎内	5	87.14	28	28	3	0
村上岩船	3	84.06	23	23	4	0
第2分区(9クラブ)	／	87.90	392	407	21	15
新潟	4	91.45	77	86	0	9
新潟東	5	94.77	54	55	3	1
新潟南	4	89.29	71	74	0	3
佐渡	3	83.00	14	14	0	0
新潟西	4	83.48	34	36	1	2
佐渡南	4	92.77	44	44	6	0
新潟北	3	83.33	36	36	0	0
新潟中央	4	88.64	22	22	2	0
新潟万代	3	84.33	40	40	9	0
第3分区(6クラブ)	／	81.64	148	151	4	3
新津	4	72.00	25	25	0	0
村松	3	95.83	7	8	0	1
五泉	4	86.30	22	22	2	0
白根	4	81.37	49	51	0	2
新津中央	4	82.15	35	35	1	0
阿賀野川ライン	4	72.20	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)	／	79.97	372	374	19	2
三条	4	81.54	52	52	0	0
燕	4	63.45	26	26	0	0
加茂	4	84.63	38	39	5	1
三条南	3	89.85	48	48	0	0
分水	4	91.40	32	32	2	0
見附	4	81.00	16	16	0	0
吉田	4	86.00	37	37	3	0
三条北	4	72.39	66	67	3	1
巻	4	69.60	14	14	0	0
田上あじさい	4	80.00	5	5	1	0
三条東	4	79.86	38	38	5	0

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日現在	7月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	86.43	297	302	26	5
長岡	4	88.89	41	43	2	2
柏崎	4	78.98	44	44	0	0
長岡東	4	86.50	68	68	6	0
柏崎東	3	99.24	43	44	2	1
栃尾	4	83.70	22	23	0	1
長岡西	4	83.57	38	39	4	1
柏崎中央	4	84.15	41	41	12	0
第6分区(6クラブ)	／	84.09	149	149	10	0
十日町	4	97.50	32	32	0	0
小千谷	4	74.04	33	33	4	0
雪国魚沼	4	70.00	22	22	2	0
十日町北	4	100.00	25	25	2	0
津南	3	84.00	25	25	2	0
越後魚沼	4	79.00	12	12	0	0
第7分区(9クラブ)	／	81.95	319	323	20	4
高田	5	89.52	69	70	1	1
直江津	4	87.57	44	45	2	1
新井	4	80.69	33	35	2	2
糸魚川	4	81.42	36	36	0	0
妙高高原	4	80.00	6	6	0	0
高田東	3	79.63	36	36	2	0
糸魚川中央	5	77.78	36	36	0	0
頸北	4	85.90	16	16	1	0
越後春日山	4	75.06	43	43	12	0

クラブ数	57	クラブ
7月1日 会員数	2,009	人
7月末 会員数	2,039	人
女性会員数	128	人
純増減会員数	30	人
当月平均出席率	84.19	%



ハイライトよねやま137

1 寄付金速報 — 2011-12 年度最初の寄付金は… —

2011-12 年度最初の月である 7 月の寄付金は約 1 億 8,000 万円でした。前年度に比べて 8.9% 減、約 1,800 万円の減少です。普通寄付金が 8.1% 減、特別寄付金が 11.5% 減と、特別寄付金だけでなく、会員数減少に伴う普通寄付金の減少が厳しい滑り出しの一因となっています。

厳しい経済環境であり、東日本大震災の支援・復興に力を注ぐ時期ではございますが、日本のロータリーが世界に誇る奨学事業として、皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

大内トヨ子さんが第 100 回メジャードナーに！

仙台平成 RC、大内 博会員夫人のトヨ子さんが第 100 回米山功労者メジャードナーとなりました。個人寄付として 1,000 万円に達したのは 9 人目、ロータリアン以外では初めてです。この震災で自宅に被害があったにもかかわらず、米山に寄付をしたことについてトヨ子さんは、「震災は震災。今年中に目標額を達成しようと、もともと心に決めていました」と、言います。トヨ子さんは、夫の博会員が若いころ奨学金の支えで海外留学を果たし、“今の自分たちがいるのは奨学金制度のおかげ”という気持ちから、自身の貯金を寄付にあてています。

「米山奨学事業は、皆がお金を出し合って大きな奨学金となる。勉強は財産。どの国から来た留学生であれ、世界にたくさんある国の中から日本を選んで来日し、懸命に勉強する若者を応援したい」



2 来春採用の奨学生募集がスタート

2012 年 4 月採用の新奨学生募集が始まりました。各地区米山記念奨学委員会からの報告により決定した指定校は全国で 474 校（前年度 442 校）、被推薦者数は 1,559 人（同 1,643 人）です。この中から地区の選考を経て、新規奨学生約 600 人が選ばれます。

地区から指定校に対して“学内選考の目安”を提示した地区は 26 地区。多くは「日本語運用能力のある学生」（23 地区）、「国籍が偏らないように」（22 地区）を挙げています。また、大学・大学院以外を対象とする「地区奨励奨学金」を導入したのは、昨年

から 1 地区増えて 6 地区 12 校（表参照）となりました。大学生と同等の応募資格を有する「高専専攻科」を指定校とした地区は昨年に引き続きゼロでした。※募集要項・申込書は 8 月 12 日付で当会から指定校へ送付します。また、当会 HP では 8 月 10 日に指定校、募集要項・申込書を発表します。

2550 地区	アジア学院
2650 地区	敦賀短期大学
2660 地区	大阪日本語教育センター 学校法人コミュニケーションアート 大阪ハイテクノロジー専門学校
2680 地区	神戸 YMCA 学院専門学校 (財) PHD 協会
2690 地区	就実短期大学 鳥取短期大学 津山工業高等専門学校
2710 地区	広島 YMCA 国際ビジネス専門学校 福山 YMCA 国際ビジネス専門学校

3 ホームカミング制度で学友を招待しませんか？

ホームカミング制度は、元米山奨学生（学友）の里帰り制度です。活躍する米山学友を各地区で毎年 1 人招待し、地区大会等で現在の活躍を披露していただきます。海外在住の学友だけでなく、国内在住者も対象にできるほか、他地区出身の学友も招待することができます。費用は米山記念奨学会から補助されます（上限あり）。「寄付の成果が実感できる」と大変好評です。ぜひご活用ください。



4 台湾学友会による日本人支援奨学金の第3期生決定

台湾米山学友会（正式名称：（社）中華民國扶輪米山会）が恩返しとして始めた「日本人若手研究者奨学金」は3年目を迎え、今年は採用数を年間1人から2人に増員して募集しました。当会ホームページを通じた公募に5人の応募があり、このたび合格者2人が決定しました。

第3期奨学生に選ばれたのは、以下のお二人です。お二人には今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドルが支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。



く どう ゆう な
工藤 夕奈さん

国際教養大学在学中。9月より交換留学で国立台湾大学に留学。高校の時にRI青少年交換プログラムで、スウェーデンに留学。



か どう ゆう か
加藤 有花さん

国立中山大学(高雄)華語中心にて語学研修中。9月より国立高雄師範大学芸術学部視覚デザイン学科に進学予定。

5 台北南山RCが500万円の義援金贈呈

ハイライトよねやま 134号でお知らせした台湾の新しい日本語クラブ・台北南山RCタイペイナンシャンの会員一行が7月20日、台北の交流協会（日本の対台湾窓口機関）を訪問して、東日本大震災の義援金500万円を今井正代表に贈呈しました。

今回の義援金について、同クラブの初代幹事を務める米山学友の歐元韻さんは、「台北南山RCは、在台日本人と日本留学経験者によって結成され、全員、日本に深い感情を持っています。一日でも早く復興できるよう会員一同、心からお祈りしております」と、メッセージを寄せてくれました。台湾は、官民合わせて200億円超と、今回の震災に際し、世界の中でも最高額の義援金を送ってくれています。



義援金と言えば...

今回の震災で、国内外の米山学友会および学友・奨学生個人から当会に送金された義援金は総額約740万円にのぼります。この義援金は全額、当会から被災地区に送金しました。そのほかにも、多くの学友が世話クラブを通じて義援金を送ってくださっています。

お知らせ



第3回中国学友会総会のご案内

北京

2009年に正式発足した中国米山学友会の第3回総会が、10月22日（土）に北京で開催されます。同学友会は、北京・天津を中心とする華北分会と上海分会で構成され、各分会が毎年交互に総会の運営を担当しています。

今年の総会を主催する華北分会の姫軍会長は、「今回は、台湾や韓国、日本の学友会にも参加を呼びかけ、この北京でアジアの米山学友の親善交流を図りたい」と、意気込みを語っています。

昨年7月に上海で開かれた第2回総会・懇親会には、万博会期中ということもあり、日本からもたくさんの方々が参加しました。今年も「ロータリアンの参加は大歓迎」とのことですので、関心のある方はぜひご参加ください。（申込締め切り日：9月15日）

詳細は、米山奨学会ホームページをご覧ください。→ <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津・峯

平成 23 年 8 月 25 日

ガバナー 各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 新藤 信之

拝 啓

残暑の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。このたびは、下記 8 点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬 具

追 伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文 庫 通 信 (288号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信と新着文献より

- ◎「『現代社会とロータリー』ークラブと会員はどうあるべきか」 上野 操
2011 1p (D.2580月信)
- ◎「ロータリーの綱領について」 川野正久 2011 2p (D.2590月信)
- ◎「『親睦と奉仕の調和』ロータリー思想の原点」 織田吉郎 2011 1p
(D.2790月信)
- ◎「『利己と利他の調和』の哲学ー『東洋の実業倫理』」 亀井義弘 2011
2p (D.2670月信)
- ◎「自他の関係と奉仕」 桑月 心 2011 1p (D.2630月信)
- ◎「地域に合った、オリジナルで独創的な活動をしよう『親睦活動月間を考え
る』」 崎山武夫 2011 1p (D.2610月信)

[上記申込先：ロータリー文庫]

- ◎「わかりやすいロータリー 改訂第4版」 D.2650 2011 70p
[申込先：渕上勝夫 FAX(0779)87-2560]
- ◎「奉仕の原則と保全の法則（1929年出版）」 アーサー F シェルドン著
田中 毅訳 2011 103p [申込先：田中 毅 FAX(06)6491-9899]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2560

国際ロータリー第 2560 地区 2011-12 年度ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 2-12

TEL: 025-201-7802 FAX: 025-201-7803 E-mail: ishimoto@rid2560niigata.jp

ホームページ URL <http://www.rid2560niigata.jp/>